



授業の記録

本時は、第5学年家庭科「持続可能な社会への物やお金の使い方」の単元における『持続可能な社会』を意識し品物を選ぶ中で、問題を見だし、解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決することができる。」ことを目指した授業である。

今回の授業では、「持続可能な社会」という視点のもと、前時までに学んだ品質・大きさ・分量・値段・環境への影響を考慮しながら、疑似的な買い物体験をすることを確認した。児童は、商品カードの情報を読み、1つ商品を選び、なぜ選んだのか、意見を伝え合う。

食品グループでは、「今日の夜ご飯カレーライスを作る。食材を買おう。」というミッションのもと、豚肉ブースと人参ブースに分かれて意見を交わした。

豚こま肉A 産地：国産（都道府県の表示なし） 価格：265円（税別） 内容量：200g 表示：5パーセントオフ 消費期限：今日	豚こま肉B 産地：群馬県 価格：248円（税別） 内容量：180g マーク：なし 特徴：環境にはいりよしたパッケージ。プラスチックの蓋がない。 消費期限：3日後
豚こま肉C 産地：カナダ 価格：378円（税別） 内容量：300g マーク：なし 特徴：冷凍で長持ち。脂がのってジューシー。たっぷり入ってコスパがよい。 賞味期限：2か月後	豚こま肉D 産地：北海道 価格：365円（税別） 内容量：200g 表示・マーク：有機JASマーク 特徴：有機原料で育て、環境と健康にはいいよ！ 消費期限：3日後

「DはJASマークがついているよ。」
「Aの5パーセントオフの豚肉がいいと思う。」
「でも今日が消費期限だよ。新鮮じゃない。」
「今日の晩御飯だから、いいんだよ。」



「Cはこれは安いしきれいだよ。」
「でも農薬使っているかもよ。」
「Aの北海道の人参がいいよ。甘くておいしいって。」
「土がついていたら面倒くさいな。」

にんじんA 産地：北海道 値段：3本入り198円 マーク：なし 特徴：色がよく甘みが強い。見た目がきれい。スーパーでよく売られている。	にんじんB 産地：千葉県 値段：バラ売り 1本60円 マーク：無農薬（表示あり） 特徴：土つき・ふろいだが新鮮。地元の直売所限定販売/無収穫
にんじんC 産地：アメリカ産 値段：2本入り108円 マーク：（農業使用の記載なし） 特徴：輸入品/形がそろって長持ち。冷蔵庫で長持ちする/安い	にんじんD 産地：香川県 値段：5本入り298円 マーク：有機JASマーク付き 特徴：少し小ぶり/まともな買い向き。食品ロス削減セール品（少し傷あり）

文房具グループでは、「新学期の文房具をそろえよう」というミッションのもと、筆箱ブースとノートブースに分かれて意見を交わした。

筆箱A 原産国：日本 価格：1,200円（税込） 原材料：ABSプラスチック、一部再生ポリプロピレン使用 マーク：JISマーク、エコマーク 特徴：定番の箱型筆箱。じょうぶで長持ち。	筆箱B 原産国：日本 価格：980円（税込） 原材料：ポリプロピレン（PP100%） マーク：リサイクルマーク、エコマーク 特徴：分別不要でそのままプラごみでリサイクル可能。軽くてシンプル。
筆箱C 原産国：中国 価格：780円（税込） 原材料：ポリエステル（布）、ナイロンファスナー 認証マーク：なし 特徴：自分が大好きなきらクラターがプリントされている。軽くて楽な。	筆箱D 原産国：ドイツ 価格：5,500円（税込） 原材料：植物タンニンなめし革、リサイクルウール 認証マーク：LWG認証（環境負荷を低減した革製品の印） 特徴：高品質な天然革。何年も使えて経年変化が楽しめる。修理も可能。

「これは？リサイクルマークがついているよ。」
「プラだからリサイクルできるけど、壊れやすい。机から落とすこともあるし。」
「ドイツ産は高いから、ないね。」
「でも環境負荷が少ないって書いてあるよ。長く使えそうだし。」

「でもなんのマークもついていないよ。」

	ノートA 原産国：日本 価格：250円 紙の素材：再生紙100% マーク：エコマーク、再生紙使用マーク、グリーンマーク 特徴：環境にやさしく、書きの跡もめづらから。  		ノートB 原産国：韓国 価格：200円 紙の素材：クラフト紙 マーク：なし 特徴：表紙に大きなキヤラが描かれていて、テンションが上がる。
	ノートC 原産国：インド 価格：250円 紙の素材：パルパナ紙入り再生紙 マーク：フェアトレード認証マーク 特徴：環境と人への生産者を支える製品。 		ノートD 原産国：中国 価格：80円 紙の素材：木材パルプ マーク：なし 特徴：どこにいても売っていて、安く手軽。書きやすい。

衣類グループでは、「日光移動教室で身に付ける物」というミッションのもと、Tシャツブースとリュックブースに分かれて意見を交わした。

シャツブA 原産国（縫製）：日本 価格：2,200円 素材：綿60%（インド産）・ポリエステル40%（中国産） マーク：S&Pマーク 特徴：しわになりにくく、乾きやすい。丈夫で洗いがしやすい。 	シャツブB 原産国：中国 価格：1,200円 素材：ポリエステル100% マーク：なし 特徴：洗ってすぐ乾く。色落ちしにくく、シワになりにくい。薄い。
シャツブC 原産国：インド 価格：2,900円 素材：子綿リコットン（フェアトレード） マーク：フェアトレード認証 特徴：少ししわになりやすいが、通気性がよくやさしい風合い。 	シャツブD 原産国：ベトナム 価格：1,800円 素材：再生ポリエステル・綿 マーク：エコマーク、リサイクル認証 特徴：軽くて丈夫。環境への配慮がされた素材。 

「通気性がよすぎるのも困るんじゃない？ 日光寒いよ。」



「価格は高いけど、マークがついているからエコだよ。」
「Dは借りたら0円だよ。」
「返さなきゃいけないって。リュックはまた将来使うかもしれない」
「雨がふるから撥水加工のCがいい」

リュックA アメリカ製 価格：9,800円（税込） 状態：新品 マーク：なし 特徴：有名なメーカー製。背中のクッション性が高く、長時間背負っても疲れない。ほっすい加工と反射材つき。	リュックB 中国製 価格：2,980円（税込） 状態：新品 マーク：なし 特徴：大型スーパーで販売。デザインはシンプルだが、とても軽くてたっぷり入る。ポケット多数。
リュックC 日本製 価格：7,200円（税込） 状態：新品 マーク：エコマーク 特徴：ペットボトルから作られた再生素材。やや固めだが丈夫で耐水。	リュックD 韓国製 価格：0円 状態：しみあり マーク：なし 特徴：お寺さんの知り合いの寺から非営利慈善団体に渡ったもの。ちょっと色あせているが、まだ使える。修学旅行用、送す必要がある。

5分間話し合った後は、様々な意見を聞いた上で最終的に買いたい商品カードを選び、別ブースに移動した。教師は、児童の話し合いをファシリテート（促進）するために、視点が書かれたホワイトボードを持ちブースを回った。

3回の話し合いの後、全体でどのような視点で品物を選んだか共有し合った。児童からは次のような考えが共有された。

「ノートCを選びました。バナナを再利用していてエコだし、買ったら発展途上国の誰かを助けられるからです。」

「リュックは、Bを選びました。日光は、軽くていっぱい入って、ポケットもある方がいいから。」

「僕はリュックCにしました。なぜなら、八ヶ岳のハイキングで転んだからです。転んでも壊れないのが良いです。」

「僕はDです。0円だし、お母さんの知り合いだから、ちょっと汚してもしょうがないな一って思われるかも。」

教室が笑いに包まれる中、教師からは、

「汚してもいいかってところは置いておいて、0円だし、新しく買わないから、すごくエコではあるよね！」とのフォローをした。「人参の土は、皮むけばおなじ。Bの人参は、無農薬だし、地元って書いてある。社会で習ったんですけど、地産地消ってやつがで



きます。」

「僕はばら売りの人参Bよりもまとめ売りのDです。計算すると2円も安い。」

児童から教科横断的に様々な考えが交わされた。

教師は、

「みんないろいろな視点で買い物をしたんだね。一番大事なのは、今のように、何かを買うときに、自分の中で確固たる理由があるということ。大切にしたいことがあって、意見がもてるということです。次回は、自分の買い物5箇条を作ります。」と授業を締めくくった。

協議会の記録

授業者自評

授業前は緊張していたが、子供たちが元気よく引っ張ってくれたので、普段通りの授業を行うことができた。子供たちは活発に話し合い活動に参加していた。前時までに ICT を用いて行った調べ学習が生きた話し合いにつながった。同じ視点ばかりにこだわってしまう児童や、話し合いにうまく参加できていない児童が見られたので、ファシリテーターとして声掛けに工夫が必要であると感じた。

協議会(ワールドカフェ方式)

ブースA「ファシリテーターとしての教師の姿について。学習の効果を最大化する声掛け・支援とは。」

【意見】教師が話し合いの視点を書いたミニボードを持って歩いており、児童の視点を広げることにつながっていた。教師が話過ぎない姿がよかった。

【意見】少数派の意見に視点を向け、子供の視点を広げるファシリテートができるとよかった。

【意見】意見が言えない児童に対して、ファシリテートが必要だった。

【質問】話し合いの中で考えが変容した子をどのように見取っていくのか。

【分科会】ブースでの商品選択の場面では他者の意見を聞いて商品カードを変えることができたが、授業後半の振り返りの場面で自分が選択する商品を変えるには時間が足りなかった。振り返りでそのようなことを書かせてもよかった。

ブースB「対話的な学びについて。ワールドカフェ方式と商品カードの効果。」

【意見】ワールドカフェ方式には、事前の土台作りが大切。班によって差が出てしまうが、回数を重ねていくたびに、どんな子でも意見を言いやすい雰囲気が出来ていた。

【意見】商品カードは、自分の意見表明になり、話し合いが苦手な児童への有効な手立てになっていた。

【意見】商品の値段に対して、より実生活に近い視点で考えられるよう、事前に予算を決めてもよいのでは。

ブースC「ICTの活用法について。本時で使わないのは効果的か。ICTを使うべき場面はどのような場面か。」

【意見】ICTを用いなかったことで熱量が増し、読むことが苦手な児童も話し合いに参加できていた。

【意見】前時までの ICT を用いた調べ学習が本時に生かされていた。

【意見】商品選択の変化やばらつきを見取るために、ICTを集計の場で用いると面白いのでは。

指導・講評【帝京大学教育学部初等教育学科長 福島健介先生】

昔に比べ「消費活動」が生活の中心になっている現代において、「自立した消費者を育成する」ことが重要視されている。日常行っている買い物が売買契約であることを理解できるようにすることが、小学校家庭科でのねらいである。本日の授業はまさにそれを体現している。指導案を拝見して、題材の構成と指導内容の工夫が非常によい。「自分 1 人の中でも、商品によって、選ぶ基準が様々である」ということが大切だ。食品・衣類・文房具という様々なカテゴリーの商品があったことで、話し合いが広がった。本時におけるファシリテートのゴールは「生活と学びを結び付ける」ことだった。ファシリテートする上では、「この話し合いのおさえるべき原則・ゴール・身に付けたい力は何か」がぶれない事が大切である。この授業では、教員がミニボードを持ち歩いて回することで、多様な視点を引き出し、生活と授業を往還させながら考えるようにできていた。近頃、お小遣いをキャッシュレスで渡している家庭や、親のカードやスマホを勝手に使い、多額のゲーム課金をする子供、買い物でクレジットカードを使用している家庭が増えてきている。児童の実態として、「本当に、店で品物を選ぶだけなのか。」「本当に、現金で買うことが今の時代の自立した消費者なのか。」を考えた授業設計も考えられる。社会構成主義という、『「人の知」というものは、分かちもたれるもので対話や協働の中で生まれていくものである』という考えがあるが、この考えを頭に入れて教育をしていくことが大切である。

本時の話し合い活動において、アナログ教材を用いている点がよかった。商品を手にとって情報を確認する作業は、生活の体験と結び付いている。手に触れる商品カードにより、情報の比較がしやすく、相手の目を見て話し合える環境ができていた。評価が曖昧な点があったため、商品選択の変遷記録や、商品選択とその理由を書くワールドカフェ活動記録を書かせてもよい。自分は商品選択において何を大事にする人なのか、商品の種類によって大事にするものは変わるということを、レーダーチャートやルーブリックを用いて振り返りを行うことが効果的である。ICTは、情報の速報性と共有性という点で優れている。